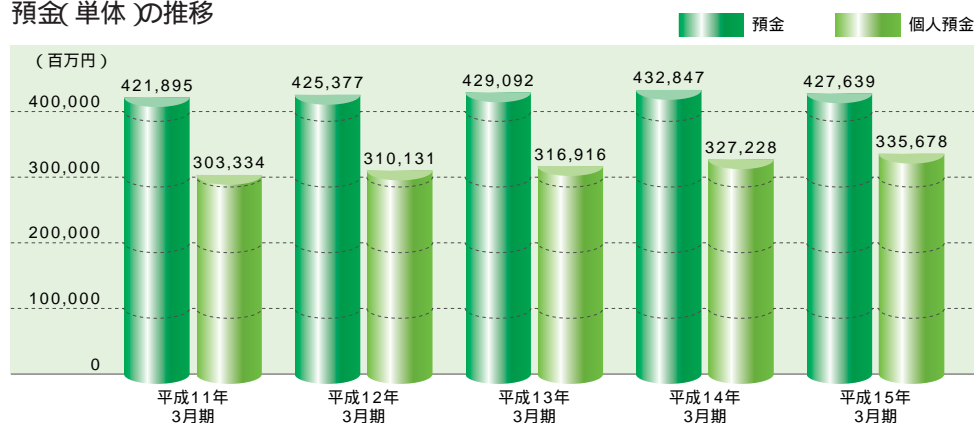
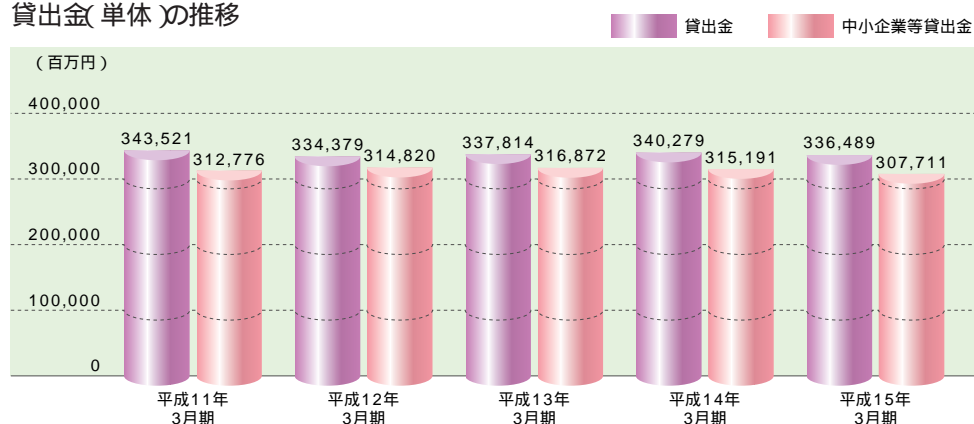


平成14年度業績ハイライト(単体)

預金(単体)の推移



貸出金(単体)の推移



経常利益の推移



当期純利益の推移



業務純益の推移



単体での決算状況

預金残高は、個人預金が引き続き堅調に推移しましたが、法人・公金預金が減少したことから当期中52億円減少し、276億円となりました。

一方、貸出金残高は、住宅ローンが好調に推移しましたが、事業性融資が伸び悩んだことなどから、当期中37億円減少し、364億円となりました。

また、損益状況につきましては、業務純益では前期比2億53百万円減少の29億88百万円、経常純利益では前期比3億87百万円増加の11億68百万円、当期純利益では前期比55百万円増加して2億57百万円となりました。

トピックス(平成14年4月～15年5月)

月	店舗	経営・営業関係	新商品・新サービス
2002 4	ユース金津店前に CD設置	インターネットホームページを リニューアル	投資信託グローバル・ソブリン・オープン取扱開始 懸賞付き金利優遇定期預金発売
5		平成14年3月期決算短信 発表	
6	サニーマート南店に 365日稼動ATM設置		大型カードローン おまかせザウルス発売 金利上乘せスーパー定期預金発売 第16回懸賞品付き定期預金発売
7		ディスクロージャー誌 「FUKUHO REPORT 2002」 およびミニディスクロージャー誌 「こんにちは福邦銀行です」を発行	住宅金融公庫協調住宅ローン すまい・るパッケージ取扱開始
8			
9			
10		生命保険商品の窓口販売開始	
11		中間決算短信発表	金利上乘せスーパー定期預金発売 第17回懸賞金付き定期預金発売
12	365日稼動ATMを15カ所増設 	ミニディスクロージャー誌 「こんにちは福邦銀行です」を発行	
2003 1			口座振替申込書一括依頼方式導入
2		個人向け国債の取扱開始 四半期情報の開示	
3			フリーローン なんでもザウルス発売
4			
5	イーザに365日稼動ATMを設置		

ふくほつ夏のボーナス
キャンペーン

ふくほつ冬のボーナスキャンペーン
(金利・保証料引き下げ)

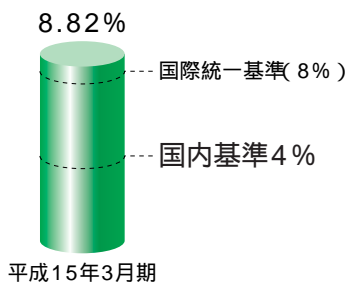
春のわくわくキャンペーン
(給与振込)

サラリーマンローン・フリーローンキャンペーン
(金利・保証料引き下げ)

当行の取り組み

自己資本比率(国内基準)

自己資本比率は銀行の安全性・健全性を示す重要な指標の一つとされており、当行のように海外に支店を持たない銀行は国内基準の4%以上が義務付けられています。平成15年3月期は、単体、連結ともに8.82%となり、基準を十分クリアしています。引き続き健全な経営体質の堅持・強化を図り、自己資本の一層の増強に努めてまいります。



配当政策

当行は従来から、銀行業としての公共性に鑑み、長期にわたって安定経営に努めるとともに、配当につきましても安定した配当の継続を基本方針としています。この方針に基づき、当期におきましても、中間配当を1株当たり2円50銭、期末配当金は1株当たり2円50銭とし、年間5円といたしました。今後も引き続き内部留保の充実による財務体質の強化と営業基盤の拡充をはかり、一層の収益向上に努め、株主各位のご期待に添うべく努力してまいります。

資産の健全化のために(不良債権)

景気の停滞局面が長引くなか、金融機関を取り巻く経営環境は引き続き厳しいものと見込まれます。当行は、不良債権の早期処理を重要な経営課題として取り組んでおり、今後も適切な信用リスク管理により、新たな不良債権の発生防止と処理の促進を図り、資産の健全化に全力で取り組んでまいります。

金融再生法開示債権

金融機能の再生のための緊急措置に関する法律(金融再生法)に基づき、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」「正常債権」を開示しています。

金融再生法では、貸出金のほか貸付有価証券・外国為替・未収利息・仮払金・支払承諾見返を対象としています。当行の金融再生法開示債権合計273億円には、担保保証等のほか、将来的に損失を被ることに備え、

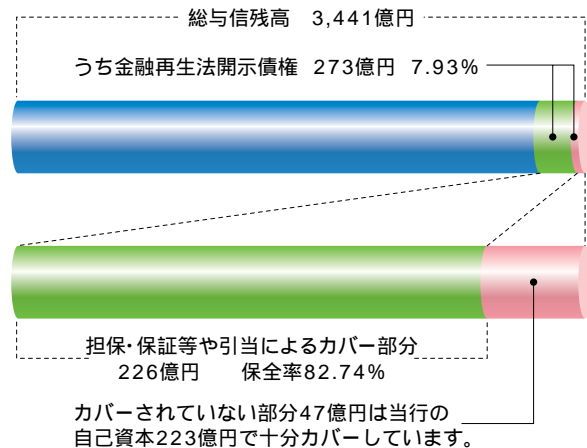
費用として引当てしている部分も含まれています。開示債権に対する保全額は226億円、保全率は82.74%あり、将来的な損失にも十分に備えています。

金融再生法開示債権(単体)

対象は、貸出金・貸付有価証券・外国為替・未収利息・仮払金・支払承諾見返。

(単位:百万円)

	平成13年度	平成14年度
金融再生法開示債権合計	32,991	27,317
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,342	9,996
危険債権	10,012	7,011
要管理債権	15,637	10,309
保全額	27,751	22,603
貸倒引当金	6,726	4,627
担保保証等	21,025	17,975
総与信残高(期末)	348,867	344,113



リスク管理債権

銀行法に基づき、「破綻先債権」「延滞債権」「3ヵ月以上延滞債権」「貸出条件緩和債権」を開示しています。リスク管理債権では貸出金だけを対象としています。なお、担保保証等による保全の有無など回収の可能性に関わらず開示しており、すべての金額が回収不能となるものではありません。

リスク管理債権

対象は、貸出金のみ。

(単位:百万円)

	平成13年度		平成14年度	
	単体	連結	単体	連結
リスク管理債権合計	32,729	30,823	26,891	26,891
破綻先債権	2,594	2,759	3,873	3,873
延滞債権	14,497	12,340	12,708	12,708
3ヵ月以上延滞債権	292	292	251	251
貸出条件緩和債権	15,344	15,431	10,058	10,058

自己査定と償却・引当について

自己査定は、資産の内容を正確に把握するために、貸出先等の債務者の財務・経営状況に応じて「破綻先」「実質破綻先」「破綻懸念先」「要注意先（「要管理先」と「要管理先以外）」、「正常先」に区分し、さらに各区分の各債権を回収可能性に応じて4種類に分類します。当行では厳格な自己査定により、適正な償却・引当を

行っています。

なお、自己査定の結果は内部監査を行い、さらに監査法人による外部監査を受けています。

自己査定と開示債権の関係 平成14年度(単体)

「自己査定の債務者区分に対する債権」「金融再生法開示債権」「リスク管理債権」の関係は概ね次のとおりです。

(単位:百万円)

	自己査定	金融再生法開示債権	リスク管理債権
定義	金融検査マニュアル	金融再生法施行規則第4条	銀行法施行規則第19条の2
基準	債務者単位	債務者単位 (但し、要管理債権は債権単位のみ)	債権単位
対象	全与信	全与信 (但し、要管理債権は貸出金のみ対象)	貸出金のみ
区分	破綻先	破産更生債権及び これらに準ずる債権 9,996	破綻先債権 3,873
	実質破綻先		延滞債権 12,708
	破綻懸念先	危険債権 7,011	
	要注意先	要管理債権 10,309	3ヵ月以上延滞債権 251 貸出条件緩和債権 10,058
	正常先	正常債権 316,795	(リスク管理債権以外の貸出金) (309,597)
		(合計) 344,113	(合計) 336,489

全与信とは、貸出金に加え、その他の債権(貸付有価証券、外国為替、未収利息、仮払金、支払承諾見返)を含む総与信であります。

用語のご説明

金融再生法開示債権

破産更生債権及びこれらに準ずる債権
破産、会社更生、再生手続などの事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権
危険債権
債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権
要管理債権
3ヵ月以上延滞債権(元金または利息の支払が約定支払日の翌日を起算日として3ヵ月以上延滞している貸出債権)
貸出条件緩和債権(経済的困難に陥った債務者の再建または支援を図り、当該債権の回収を促進すること等を目的に、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定などを行った貸出債権)
(注) いずれも を除く。
正常債権
債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないものとして、上記以外に区分される債権

リスク管理債権

破綻先債権
会社更生法・民事再生法による更生・再生手続開始の申立て、破産の申立てまたは整理開始・特別清算開始の申立てなどの事由が生じている貸出金
延滞債権
元本または利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により、元本または利息の取立または弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金(および債務者の経営再建または支援を図ることを目的として利息の支払を猶予している貸出金を除く)
3ヵ月以上延滞債権
元本または利息の支払が約定支払日の翌日から3ヵ月以上遅延している貸出金(を除く)
貸出条件緩和債権
債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金(~ を除く)

当行の取り組み

リスク管理体制

銀行業務を営んでいく上では、信用リスク、市場リスクをはじめとしたさまざまなリスクを伴いますが、これらのリスクは金融環境の変化によってますます多様化していくとともに銀行に及ぼす影響も大きくなってきています。こうした中で、お客様のご希望にお応えしながら健全性の確保、収益力の強化を実現していくには、あらゆるリスクを的確に把握して管理することが重要です。当行では、リスク管理を経営の重要課題の一つとし、健全性の向上の観点からリスク管理の充実に努めています。具体的には、当行のリスク管理体制全般を定めた「リスク管理基本規定」においてリスクの種類ごとに担当部署を定めるとともに、リスク統括部がリスク管理の統括部署として各リスク管理状況の把握や有効性等について定期的に検証しています。

信用リスク管理

信用リスクとは、お取引先の経営状態の悪化などにより貸出金などの元本・利息が回収できなくなるリスクをいいます。信用リスク管理体制については、信用リスクを的確に把握し、厳正に管理するため、審査管理部門を営業推進部門から明確に分離する体制を構築しています。また、信用リスクに関する事項を審議する機関として審査会を設置しています。この審査会は、経営陣および審査部門メンバーから構成されており、個々の貸出先のリスクの状況に基づき、的確かつ迅速な与信判断を行える管理体制としています。さらに「自己査定」を通してお取引先の実態把握に努めています。加えて、与信リスクの分散を図るため、業種別・大口与信グループ別等の与信ポートフォリオの管理を行っています。融資については基本原則（安全性、収益性、流動性、成長性、公共性）を遵守し、事業計画や資金使途の妥当性、返済能力、担保などを総合的に評価しています。また、企業財務分析診断システムに加え、不動産担保評価システムによる担保評価額の定期的見直しなどシステムサポートも充実させ、各種研修制度を活用した行員のレベルアップと併せて信用リスク管理能力の向上に努めています。

市場関連リスク管理

市場関連リスクとは、金利リスク・価格変動リスクおよび為替リスクからなっており、金利・有価証券の価格・為替など、様々な市場のリスク・ファクターの変動により、保有する資産の価値が変動し、損失を被るリスクのことです。こうした市場関連リスクは、損失のリスクを伴う反面、収益の源泉でもあり、金融機関は

市場関連リスクをあらかじめ定めた範囲内に収めつつ、適切にコントロールしながら安定的な収益の確保を図るよう努めています。

流動性リスク管理

流動性リスクとは、銀行に対する信用の低下等により、必要な資金の確保が困難となったり、資金の確保に通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされたりする「資金繰りリスク」と、市場の混乱等により、市場において取引ができなかったり、通常より著しく不利な価格での取引を余儀なくされたりすること等によって損失を被る「市場流動性リスク」があります。当行では、安定した資金繰りを行うため運用・調達の状況を的確に把握し円滑な資金繰りに万全を期しています。

ALM

当行では、資産(Asset)・負債(Liability)の総合管理(Management)の強化を図るため、ALM委員会を毎月開催して金利予測を行うとともに、マーケットリスク等について、金利リスク分析、シミュレーション分析等の多面的な分析をもとに検討を行っています。さらに、ALM委員会の下部組織として、ALM小委員会を開催し、ALMに関する事項について協議・検討し、ALM委員会に報告、提言しています。当行は、このようなALM管理体制において、変動する経済や金利情勢を常に意識した上で、銀行全体の資産・負債のバランスについて機動的に対応できる体制を敷き、リスク管理の高度化に努めています。

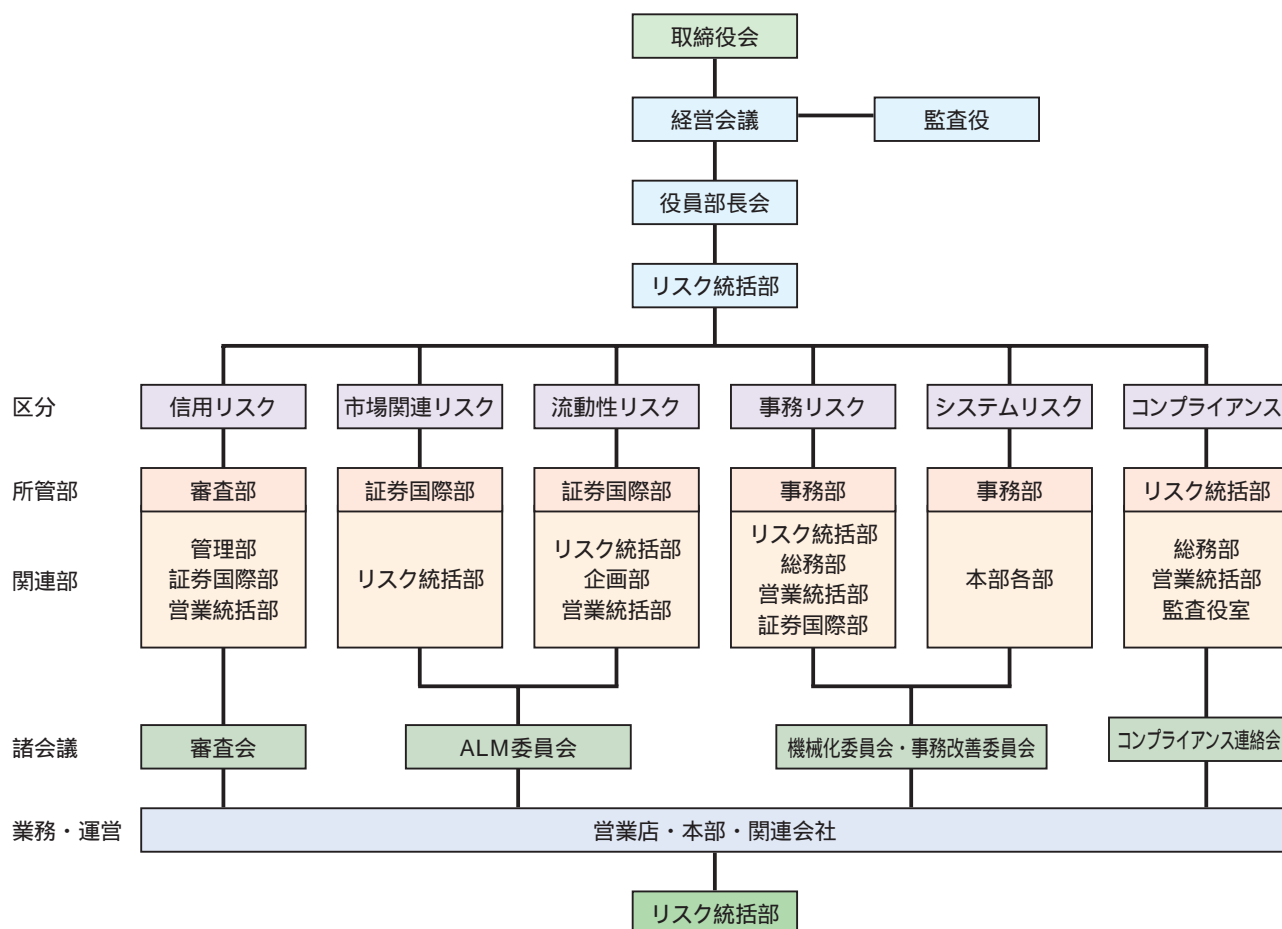
事務リスク管理

事務リスクとは、役職員が正確な事務を怠ったり、事故・不正等を起こすことによって損失を被るリスクです。当行では、事務処理の厳正化や事故・トラブル防止の観点から、内部監査や店内検査を実施し、相互牽制体制と厳正な事務処理体制の確立に努めています。

システムリスク管理

システムリスクとは、コンピュータシステムのダウンや誤作動によって損失を被るリスク、あるいはコンピュータが不正に使用されることによって損失を被るリスクです。当行では、ホストコンピュータなどの重要機器に関しては、地震災害に備えて倒壊対策を実施し、営業店とコンピュータセンターとを結ぶ通信回線を二重化しています。さらに、データの厳正な管理、不正使用防止に関しても各種規定の整備等により、セキュリティ管理体制の強化を図っています。

当行のリスク管理体制



コンプライアンスに対する考え方

金融機関を取り巻く環境が変化し、金融自由化が進展する中、自己責任の徹底が強く求められています。このような状況の中、当行の公共的使命や社会的責任を役職員が強く認識するとともに、高い倫理観を持って行動することが重要であり、役職員全員が、コンプライアンス、すなわち法令や社会的規範の遵守に徹した企業風土の醸成を確立していくことが必要であると考えています。

コンプライアンス体制

当行では、効果的なコンプライアンス体制を確立するため、リスク統括部をコンプライアンス統括部署と定めるとともに、本部各部および全営業店の部店長をコンプライアンス責任者、次席者をコンプライアンス管理者に任命し、その役割を明確にしています。また、本部各部でコンプライアンス体制整備のための実践す

べき項目をまとめた「コンプライアンスプログラム」を毎年策定し、定期的にコンプライアンス連絡会で協議するとともに、適宜見直しも行っています。また、役職員の遵法意識をいっそう高めるため、コンプライアンス関連のマニュアルを一つにしたコンプライアンスマニュアルを配布して勉強会を行い、研修等により、徹底を図っています。今後とも、当行を取り巻く環境の変化に素早く対応し、随時見直しをしながら、お客様の信用・信頼をいただくために体制の充実に取り組んでまいります。

地域貢献への取り組み

地域への融資の取り組み

当行は、地域金融機関としての社会的使命は、地域経済の発展を通じて豊かな社会づくりに貢献することであると考えています。地元中小企業や個人事業主、並びに個人のお客様の幅広い資金需要に積極的にお応えし、良質な資金の安定的な供給に努めています。

地域企業のお客様へ

当行の活動に対して、地域のお客様から厚いご信頼をいただくことができましたことにより、平成15年3月末現在、当行の預金残高は4,276億円、貸出金残高は3,364億円となりました。

地域企業のお客様へのご融資は、事業性資金をはじめ、県・市制度融資のお取り扱いなど、潤沢な資金のご提供に向けて積極的に取り組んでいます。

貸出金残高は、福井県2,899億円、石川県143億円、京都府187億円、大阪府135億円となっており、福井県内の貸出金残高は86.2%を占めています。

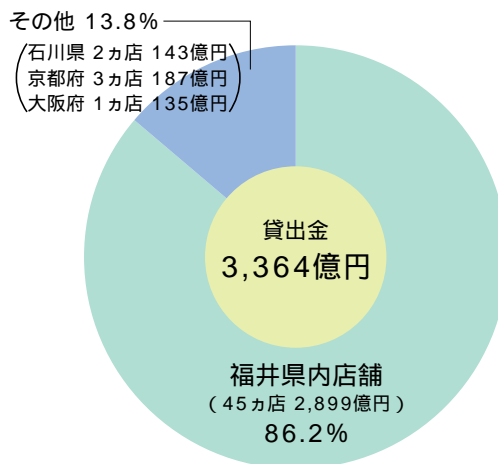
資金用途別では、設備資金1,594億円、運転資金1,770億円、業種別では、卸売・小売業、各種サービス業、建設業、製造業の順となっています。

貸出金残高全体に対する中小企業や個人のお客様向けの貸出先件数は27,970件、貸出金残高は3,077億円となっており、貸出金残高全体の91.4%を占めています。また、福井県内における中小企業や個人のお客様向けの貸出先件数は25,093件、貸出金残高は2,679億円となっており、残高の92.4%を占めています。

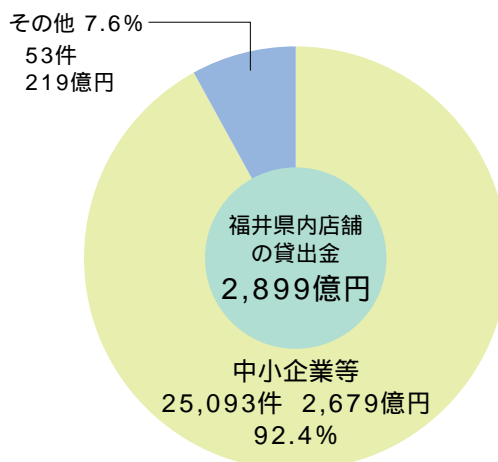
平成15年4月には、地域の中小企業のお客様のご融資を専門的に推進する融資推進グループを新設し、融資推進体制のさらなる充実と強化を図っています。

また、資本市場における地域企業のお客様の資金調達手段として、保証付私募債を引き受けるなど、積極的に支援しています。

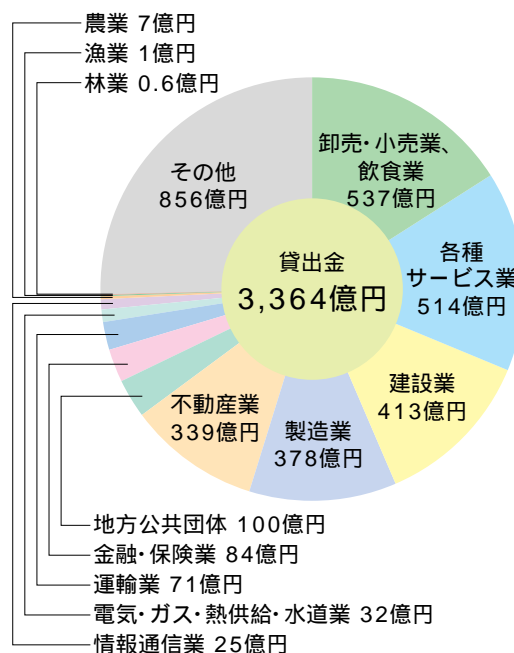
貸出金の府県別状況



福井県内貸出金の企業規模別状況



業種別貸出状況



経営活動の合理化・効率化へのサポート

当行では、WEBバンキングサービス・ファームバンキングサービスなどの情報化に即応したエレクトロニック・バンキングサービスをはじめ、給与振込サービスなど各種サービスを充実させ、経営に関わる事務の合理化・効率化のサポートに取り組んでいます。

グローバルな経営活動へのサポート

国際業務においても、貿易取引や海外送金、資金調達と運用など地域企業のお客様のグローバルな経営活動のサポートを行っています。

企業支援制度によるサポート

お取引先の健全な経営を的確に支援するため、当行では企業支援制度を制定し、お取引先の経営改善計画に対するアドバイスやご提案、外部コンサルタントのご紹介、人材派遣などを通じて企業経営のサポートを行っています。

平成15年7月には、企業支援および事業再生を専門とする企業経営支援室を設置し、さらなるサポートの充実を図っています。

個人のお客様へ

個人のお客様向けには、住宅ローンをはじめ、マイカーのご購入資金やお子様の教育資金向けローンのほか、お使いみち自由なカードローン・フリーローンなど、暮らしのニーズやライフステージに合わせた商品を豊富にとりそろえています。

個人のお客様向けローンの充実

平成15年3月に発売したフリーローン「なんでもザウルス」のお申し込みは、ご来店不要です。メールオーダーでお申し込みいただけるほか、FAXやインターネットホームページでも受け付けています。また、お急ぎのお客様には、受付から30分以内にスピーディー回答いたします。

フリーダイヤル ☎ 0120-687-294

受付時間 9:00～17:00（銀行休業日は除きます）

FAXから ☎ 0120-787-294（24時間・年中無休）

インターネットから <http://www.fukuho.co.jp>

ふくほう 住宅ローン

お住まいの夢をかなえるお手伝いをさせていただくため、新築および増改築、建売住宅・中古住宅の購入、住宅用土地の購入など、幅広い資金のご要望にお応えできる ふくほう 住宅ローンをご用意しています。

「住宅ローン優遇金利キャンペーン」の実施

平成15年6月9日から「住宅ローン優遇金利キャンペーン」を実施しています。金利選択型住宅ローンの最優遇金利は2年固定で1.0%です。給与振込・口座振替・積立など、一定の条件を満たされた場合、基準金利から最大0.6%の優遇となり、住宅取得控除をご利用いただくと、ほぼ2年間の金利負担は実質ゼロとなります（平成15年6月9日現在）。

また、3年固定、5年固定、10年固定ものにも0.2%から0.45%の金利優遇幅を設定して、より幅広くお客様のご要望にお応えできるようになりました。

基準金利は毎月見直しております。くわしくは窓口にお問い合わせください。

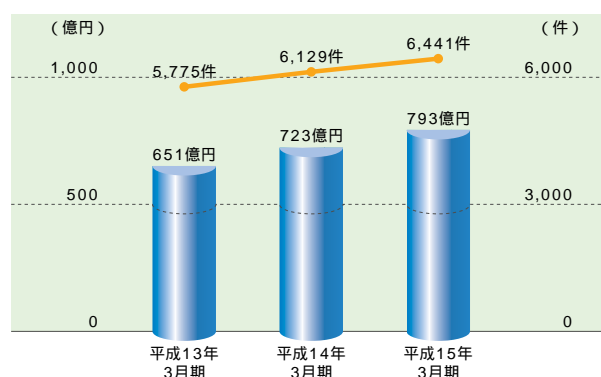
<キャンペーン期間>

平成15年6月9日～平成16年7月9日

また、お客様の大切なお住まい等に関わるご相談に対して適切なアドバイスとお手伝いをさせていただくため、平成14年7月、ローン・アドバイザーを配置し、よりきめ細かいサービスの充実と強化を図っています。当行の住宅ローンは、平成15年3月末現在、6,441件（前年度比5.0%増）793億円（前年度比9.6%増）となっています。



住宅ローン残高および件数の推移



地域貢献への取り組み

地域振興への取り組み

地域投資への増強

当行では、地域金融機関として地域の安定的な発展に寄与するため、インフラ整備のための出資を行っています。福井県内においては平成15年3月末現在、福井ケーブルテレビ、丹南ケーブルテレビ、嶺南ケーブルテレビ、丸岡春江タウンテレコム、えちぜん鉄道などへ出資を行っています。

地域への支援

福井市の代表的な祭り「ふくい春まつり越前時代行列」や武生市の「たけふ夏まつり」など、各地域の伝統行事に積極的に参加しています。



越前時代行列には36名が参加しました

平成元年から実施している美化運動「福邦ゆめ作戦」では、河川敷や公園など全行員が各地域の清掃に取り組むなど、環境保全活動を行っています。

また、地域振興のため、平成14年度はメキシコ福井キャンプ運営委員会や若狭路博2003実行委員会などへ寄付を実施し、支援を行うほか、行内においても福井県青少年一灯基金や赤い羽根共同募金など募金活動を行っています。そのほか、献血活動にも積極的に取り組んでいます。



平成14年7月、日本赤十字社福井県支部から感謝状をいただきました

地域サービス充実への取り組み

店舗ネットワークの充実

地域に密着した金融機関として、お客様の幅広いニーズにお応えし、よりいっそう利便性に寄与するため、店舗ネットワークの充実に取り組んでいます。効率的な店舗ネットワークの構築を行いました結果、平成15年7月1日現在、次のとおりとなりました。

店舗 福井県45カ店、石川県2カ店、
京都府3カ店、大阪府1カ店、合計51カ店
(平成14年度以降において変更はありません。)

キャッシュコーナー

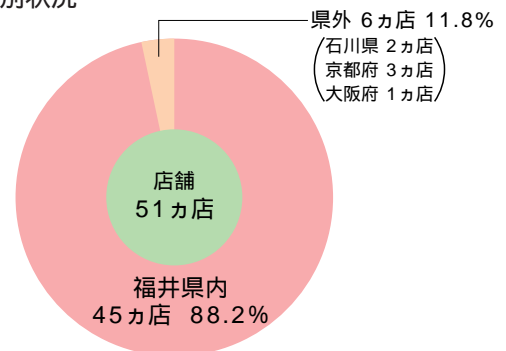
店舗内51カ所、店舗外64カ所、合計115カ所124台
平成14年度以降に新設したキャッシュコーナーは、次のとおりです。

- ・ユース金津店前共同出張所(金津町)
- ・サニーマート南店出張所(高浜町)
- ・イーザ出張所(三国町)
- ・アルプラザ武生共同出張所(武生市)

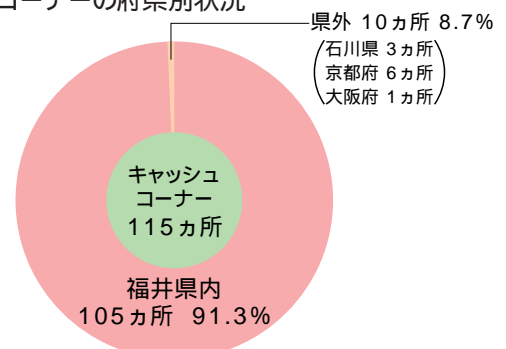
また、365日稼働キャッシュコーナーについては、平成14年度以降、福井県内のショッピングセンターを中心に16カ所増設し、店舗内33カ所、店舗外15カ所、合計48カ所に55台設置しています。

店舗・キャッシュコーナー一覧およびマップについては、P.18～21をご参照ください。

店舗の府県別状況



キャッシュコーナーの府県別状況



利便性の向上

ふくほうWEBバンキングサービス

パソコンや携帯電話（iモード・EZweb・J-SKY）で、残高・入出金明細照会、お振込み・お振替サービスや店舗のご案内などの情報サービスをご利用いただけます。お振込手数料は、当行本支店間宛は無料、他行宛は窓口・ATMご利用よりもお得です。



ふくほう
インターネットバンキングセンター
フリーダイヤル ☎0120-898294
携帯電話・PHSのお客様
0776-25-5143

投資信託商品のラインナップ

大切な資産運用のお手伝いのため、「グローバル・ソプリン・オープン」など、投資信託商品を数多くラインナップしています。毎月一定の金額を買い付ける定時・定額購入サービスもご用意しています。

口座振替一括申込サービス

平成15年1月、「口座振替一括申込サービス」を開始しました。1枚の申込書にご記入いただくだけでご面倒な複数の公共料金の口座振替をお申し込みいただけます。



バリアフリーの取り組み

当行では、バリアフリーの取り組みとして、ご高齢の方や身障者の方にも安心してご利用いただけるよう新改築の店舗を中心にスロープや手すり、点字誘導ブロックなどを設置しています。

福邦クラブの活動

福邦クラブでは、地域の企業経営者や個人事業主のお客様同士の交流・情報交換など、各種経営にかかわる情報提供サービスを行っています。具体的には、異業種間交流会である地区別セミナー・顧問税理士による無料税務相談・講演会や社員教育セミナーの開催・会報誌「福邦メディア」発行を通じた会員のお客様への情報提供など、企業経営を側面から支援しています。会員数は平成15年3月末現在953社にご参加いただいています。

平成14年度中は次のような活動を行いました。

開催日	内容（テーマ）	講師	来場者数
14年	5月16日	接遇セミナー（相互理解のコミュニケーション） 教育コンサルタント 藤井美保代	60名
	9月11日	レディーズセミナー（挑戦する心） スポーツキャスター 元全日本代表 益子直美	120名
	11月7日	講演会（政局の展望とよみ方） 河崎曾一郎	105名
15年	3月30日	第7回 オークストラコンサート 指揮 松尾葉子 独奏 矢部達哉 管弦楽 オークストラ・アンサンブル金沢	1,140名

平成14年度福邦クラブブロックセミナー

開催日	開催地	来場者数	
14年	7月12日	敦賀ブロック	44
	8月20日	舞鶴ブロック	35
	11月22日	小浜ブロック	60
15年	1月24日	丹南ブロック	79
	2月19日	坂井・奥越ブロック	105
	3月4日・19日	福井ブロック	179
合計		502名	

福井県内景況調査の発行

経営指標としてお役立ていただくため、福井県内の事業所を対象に景況調査を実施し、「福井県内景況調査」を定期的に発行しています。

年金お受け取りのご相談について

当行では、年金専任担当者ライフ・パートナーを配置し、年金のお受け取りを予定されているお客様や、すでにお受け取りをされているお客様のご相談を承っています。また、各営業店では社会保険労務士などによる年金無料相談会を開いています。

年金無料相談会は福井県内45カ店および舞鶴市内2カ店において年2回開催しています。平成14年度は、94回開催し、約1,230名のお客様にお越しいただきました。

情報開示

当行は透明性の高い経営を目指し、広く積極的に情報を開示しています。経営情報や活動状況は、このディスクロージャー誌「FUKUHO REPORT 2003」のほか、ミニディスクロージャー誌「こんにちは福邦銀行です」でご案内しています。

また、平成14年4月全面的にリニューアルしたインターネットホームページでは、経営情報をはじめ新商品・キャンペーン・金利情報や決算短信、四半期情報のほか、本誌・ミニディスクロージャー誌をPDFファイルでご覧いただけます。



ホームページアドレス <http://www.fukuho.co.jp>

笑顔・あいさつ1番銀行への挑戦

当行では、地域のお客様に信頼され、選ばれる銀行を目指して「笑顔・あいさつ1番銀行への挑戦」運動を展開しています。

各営業店では、お客様への日ごろの感謝を込めて「お客様感謝デー」を開いています。工夫を凝らしたイベントや、お客様の趣味の作品展なども催しています。

当行では、皆様のご要望、ご相談にお応えするため、「顧客サービスセンター」を設置しています。銀行業務に関してお困りのことや、当行へのご意見、ご要望がありましたら、ご遠慮なくお申しつけください。
顧客サービスセンター TEL0776-25-5127
受付 月曜日から金曜日 午前9時～午後5時
(ただし、銀行休業日は除きます)

ペイオフについて

当行は、地域のお客様に安心してお取引いただけるよう、経営の健全性と安全性を重視し、経営体質の強化と収益基盤の拡充に努めております。

預金保険対象商品と保護の範囲

商品の分類		期間	
		平成17年3月末	平成17年4月～
預金保険の対象商品	当座預金 普通預金 別段預金	全額保護	利息のつかないなどの条件を満たす預金注2)は全額保護
	定期預金、貯蓄預金、通知預金、定期積金、元本補てん契約のある金銭信託 ビッグなどの貸付信託を含みます。金融債 ワイドなどの保護預り専用商品に限り注1)	合算して元本1,000万円までとその利息等注3)を保護 (1,000万円を超える部分は、破綻金融機関の財産の状況に応じて支払われず(一部カットされることがあります))	
預金保険の対象外商品	外貨預金、譲渡性預金、元本補てん契約のない金銭信託 ヒット、スーパーヒットなど、金融債(保護預り専用商品以外のもの)	保護対象外 (破綻金融機関の財産の状況に応じて支払われます(一部カットされることがあります))	

- (注1) このほか、納税準備預金、掛金、預金保険の対象預金を用いた積立・財形貯蓄商品が該当します。
- (注2) 決済用預金といえます。「無利息、要求払い、決済サービスを提供できること」という3条件を満たすものです。
- (注3) 定期積金の給付補てん金、金銭信託における収益の分配のうち一定の要件を満たすもの等も利息と同様保護されます。

金融商品の販売等に関する勧誘方針

福邦銀行は、次の項目を遵守し、金融商品の適正な勧誘に努めます。

お客様の知識、経験、財産の状況に照らし、適切な商品の勧誘を行います。
お客様にとって不都合な時間帯やご迷惑な場所などで勧誘を行いません。
お客様ご自身のご判断でお取引いただけるよう、商品内容やリスク内容等重要な事項について十分理解していただくよう努めます。
断定的判断を提供したり事実でない情報を提供するなど、お客様の誤解を招くような勧誘は行いません。
お客様に適正な勧誘が行えるよう研修体制の充実や内部管理体制の整備に努めます。